

令和3年度 学校教育説明会資料

青梅市立河辺小学校

校長 関谷 望

ご多用の中、学校教育説明会・保護者会へご参加いただきましてありがとうございます。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症対応による臨時休校や分散登校・時差登校など、前例のない事態が続き、学校再開後も数々の配慮や変更が求められました。保護者の皆様におかれましては、そうした中、本校の教育活動に対しまして、ご理解・ご協力・ご支援を賜り、本当にありがとうございました。

令和3年度がスタートして、子供たちは新しい学年・学級で、張り切って活動する様子がたくさん見られます。本校は開校50周年のメモリアルイヤーを迎え、様々な教育活動を進めてまいりたいところですが、残念ながら本年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症対策が求められる年となります。引き続きのご理解・ご協力を、どうぞよろしく願いいたします。

1 令和3年度 学校経営方針について (別紙参照)

短時間での保護者会開催を目指し、大枠でご説明させていただきます。後ほど紙面にてご確認いただければ幸いです。

2 令和3年度の教育活動について

(1) 主な行事予定 (別紙参照)

今後の新型コロナウイルス感染症の状況の推移を注視つつ、国や都の方針をふまえ、青梅市教育委員会と連携しながら、対応を決定していくこととなります。

各行事とも実施可否を見定めたり、内容・規模を変更したりする可能性がありますこと、どうぞご承知おきください。

○学期・長期休業期間・授業日・学習活動

ほぼ例年通りの日程となります。月1回の土曜授業日は実施しません。土曜日が授業日となった場合は、原則として振替休業日を設定します。

朝のドリルタイムや、放課後のステップアップ教室も実施し、学習機会の確保と既習事項の定着に努めていきます。

また、児童一人一人の学習状況について早い時期に正しく把握し、個に応じた指導に結び付けることをねらいとして、4月中に第2～6学年での学力調査の実施(国語・算数の2教科)を実施します。

○大きな学校行事について

・運動会

今後の感染状況等や国・都・市の方針決定を受けて内容・規模・方法を決定していきます。現時点では昨年度のような形式になることが濃厚です。

・音楽会

運動会と同様ですが、飛沫感染に直結する行事のため、現時点で「例年の形での開催は難しい」と判断しています。内容・規模・方法等を現在、検討中です。

・校外学習

昨年度は、「各学年1回は実施する」という方向で検討・実施しました。本年度は、春シーズンの臨時休校等が今のところないので、例年通りの回数を実施したいと考えております。ただ、電車移動を避けて借り上げバスを使用したり、見学先の状況等で実施不可となったりする場合も想定されます。ご承知おきください。

・学校公開、道徳授業地区公開講座 等

例年のやり方では、どうしても密が避けられず、また大人と児童がかなり近く接してしまうことから、昨年度の道徳授業地区公開講座のように、学級ごとに時間を区切った実施を

予定しております。昨年度とは異なり、土曜授業日が数多くはありませんので、平日も使用しての実施となります。ご理解の程、お願いいたします。

また、保護者会やその他行事等の参観についても、昨年度同様3密を避ける工夫をしながら計画してまいります。特に大人と児童の接触する場面を減らす方向で検討してまいります。例年参観できている行事も、昨年度同様、公開しない場合もありますのでご承知おきください。

・水泳指導

今年度は実施予定です。(国・都・市の方針)

・オリンピック・パラリンピック観戦

現時点では、国や都の方針が示されておられません。

その他の各行事も、昨年度の実績を踏まえ、児童の成長の場の確保という観点から、実施の方向で内容・規模・方法を検討していきます。

また、昨年度中止された国・都・市の主催行事等も、現時点では感染症対策を施したり、形を変えたりして実施される見込みです。

(都学力調査(4~6年、オンライン) 全国学力学習状況調査(6年) 音楽鑑賞教室(5年) プラネタリウム見学(4年) 自転車教室(3年) 市内巡り(3年) 青梅市小学校音楽会(6年) いじめゼロ宣言子供議会 青梅市小学校造形作品展 等)

【6年生 日光移動教室について】

現時点では、青梅市教育委員会からは例年通りの実施を示唆されております。3月の教育活動説明会資料に掲載しました通り、宿舎・日程を調整し、以下の通り決定しました。

7月4日(日)~6日(火) 宿泊先: 奥日光高原ホテル

今後、実施可否や行き先について市教委からの指導が入る場合等もあり得ます。また、前年度の状況から、日光市の宿泊施設が、宿泊約款の変更等、対応を変えております。(キャンセル料等の発生など) コロナ禍で様々な事情が生じておりますこと、ご承知おきください。

今後とも、青梅市教育委員会と協議するなどしながら対応していきます。

(2) 令和3年度の新規・重点事業について

○GIGAスクール構想: 児童1人1端末(タブレット)について

国のGIGAスクール構想に基づいて、青梅市でも児童一人につき1台の端末(タブレットPC)が貸与されます。(これまでの「教科書、ノート、鉛筆、消しゴム…」にタブレットが加わるイメージです。毎時間使用するのではなく、必要に応じて「文房具」として活用することを目指しています。今年度貸与された端末を卒業まで使用し、卒業時に返却するという形になります。)

使用に慣れてきてからは、夏休みなどに家庭に持ち帰って使用することも想定されています。コロナ禍の影響で、予定が大きく前倒しされての導入となったため、現在、市や校内で急ピッチに体制を整えている最中です。

今後、適宜お知らせやお願いをさせていただくことがあります。混乱のないよう留意しながら推進するように努めていきます。ご協力の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

なお、青梅市での導入されるのはChromeBook(クロムブック)です。

○創立50周年記念行事について

河辺小学校は、1971年に創立され、令和3年度で50周年を迎えます。そこで、現在旧PTA役員の方々や教職員を中心に、50周年行事準備委員会を組織し、記念式典・記念行事・記念誌などの準備を進めております。

本来であれば、令和2年度から代表委員会などの活動もふくめ、50周年に向けての活動を活性化する予定でしたが、コロナ禍の影響で、実施することができませんでした。令和3年度

は、年度当初より取組を開始していく予定です。ご理解・ご協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。

○学校のICT化の促進と、児童のインターネットモラルの向上

GIGA スクール構想に基づいて、ホームページの活性化等、学校のICT化について、進めてまいります。

また、児童とインターネットの距離が大幅に近くなることから、インターネット（スマートフォン、通信機能付きのゲーム機等を含む）についてのルール作りや、情報モラル教育の推進が必要になると考えております。

○個人面談の充実について（1学期通知表の一般所見欄の省略について）

昨年度、コロナ禍の影響で1学期の通知表を作成・配布せず、1学期の学習状況・生活の様子については、学期末に実施した個人面談においてお伝えさせていただきました。結果として、この時期に個人面談を設定したことにより、児童の学習や生活の状況について担任が把握した上での実施となり、内容の充実を図ることができました。

そこで、今年度も1学期末の7月12日（月）～7月19日（月）に個人面談を設定し、1学期の学習・生活の様子について、直接、担任から保護者の皆様にお伝えさせていただくことといたしました。

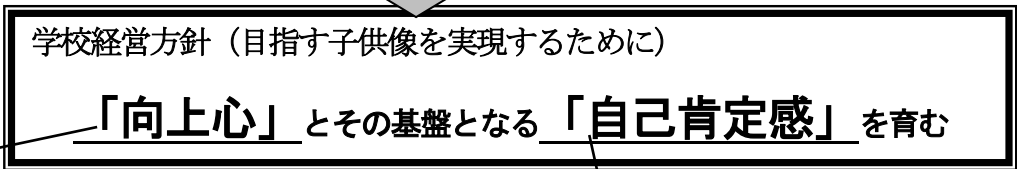
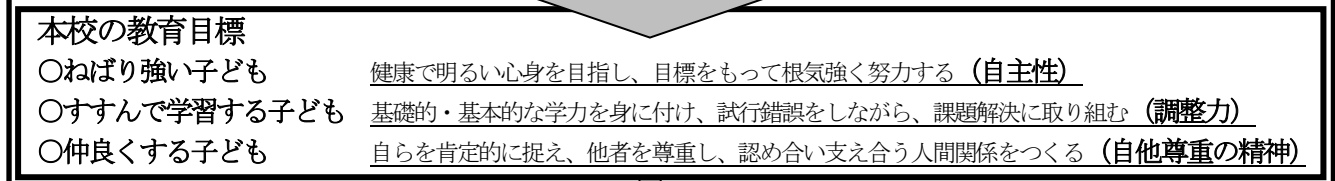
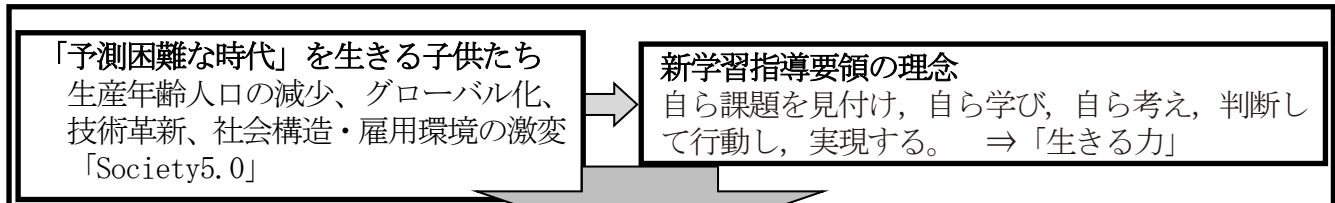
なお、個人面談にてお伝えさせていただきますので、1学期の一般所見欄は「個人面談でお伝え済み」との記載にさせていただきます。各教科の評価、外国語科（外国語活動）・特別の教科 道徳・総合的な学習の時間の所見評価については記載し、終業式にお渡しします。2・3学期の通知表については、従前どおりです。

個人面談の時期が遅くなりましたが、早い時期に担任に伝えたいこと等がある方もいらっしゃるかと存じます。4月30日（金）と5月6日（木）に、希望制の個人面談日を設定いたしました。（別途、学校からのお便りが発行されます）ご希望の方はお申し込みください。

また、これらの日程に関わらず、ご心配やご相談がある場合には、極力迅速に面談を設定いたしますので、担任までお申し出ください。

ご理解・ご協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。

どうぞよろしくお願いいたします。



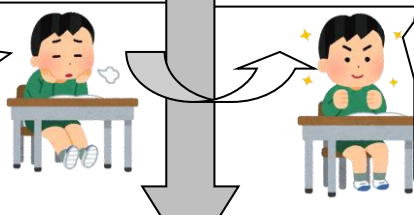
向上心：よりよい自分、よりよい学級、
よりよい学校を目指す気持ち
向上心が表れる姿＝「一人一人が輝く」
「自己の成長を目指し、生き生きと活動する姿」

- ・児童一人一人が「今の自分よりも一歩でも前進し「よりよい自分」「よりよい学級」を目指して、学習や生活に取り組む。
- ・全教職員が、現在よりもさらに「よりよい学校」「よりよい授業」を目指して教育活動改善や授業力向上に努める。
- ・児童や教職員が向上しようとする姿で、保護者や地域の信頼を得る。

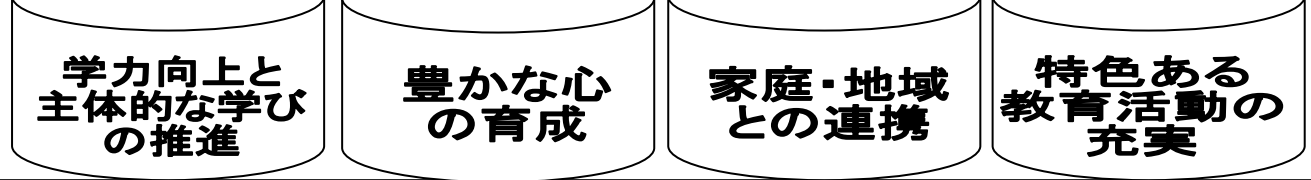
自己肯定感：「ありのまま」の自分を認め、
自分に自信をもつ気持ち
自己肯定感を高められる学校＝「楽しい学校」
「ありのまま」を受け入れ、認め励まし、成長を
支える環境」

- ・全教職員が、一人一人の児童の「ありのまま」を受け入れ、認め励まし、成長を支援する。
＝「ほめて伸ばす」
- ・教職員一人一人が、自身の力を十分に発揮し、自信をもって教育活動に取り組める環境をつくる。
- ・保護者や地域に教育活動の意義を発信し、理解や協力を得る。

「どうせ、自分なんて…」
「やってもできない…」
「自信がない…」
「失敗したらどうしよう」



「やればできる」
「自分には価値がある」
「挑戦してみよう！」
「失敗してもまた頑張ればいい」



【重点とする活動】

<p>【学力向上と主体的な学び】 ～各教科の「見方・考え方」にふれる楽しい授業～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○河辺小授業スタイルの推進（問題解決型授業により、学ぶ楽しさや成就感を味わわせる） ○学習規律の徹底（話し方「はい・立つ・～です」や聞き方「背・目・手」など） ○一単位授業の質的向上（「なぜ、いつ・何を、どのように」学ぶかの明確化） ○河辺ドリル、補充的な取組の充実（ステップアップクラスなど） ○家庭学習の習慣化（宿題の定例化、家庭学習強化週間、NOテレビ・動画・ゲームディの設定等） ○学習環境整備（学習支援員など人的環境の効果的活用等々） 	<p>【豊かな心の育成】 ～自他尊重の精神の育成～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「ハートフル河辺プラン」＝人権教育の充実 「自分大好き・友達大好き・学校大好き・河辺小の子」○「特別の教科 道徳」の授業の充実 ○学級・学年経営の充実（子供と教師、子供同士の人間関係を深める） ○自主性を育む特別活動（児童会活動・学級活動・縦割り班活動など） ○規範意識を育む生活指導の充実（いじめの未然防止・早期発見・早期対応等） ○「河辺しぐさ」の徹底（元気にあいさつ・はきはき返事・目で聞き、心で聞く・もくもく清掃・靴そろえ・ちょボラ・いつでもありがとう）等々
<p>【家庭・地域との連携】 ～適切な情報発信・情報共有～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○適時的・適切な家庭・保護者への情報発信（各種便り・ホームページ・学校メール配信等） ○学校公開や保護者会の工夫（コロナ禍でも実施できる工夫） ○各種のアンケートの教育活動改善への活用（学校評価アンケート、児童による授業アンケート、保護者等への各種行事等のアンケート等） ○丁寧な連絡・相談（保護者と相互に報告・連絡・相談する関係づくり）等々 	<p>【特色ある教育活動の充実】 ～持続可能な河辺小の伝統的活動～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体育・体育的活動の充実（体育朝会、縄跳び大会、マラソン大会の実施 ※コロナ対応で実施可否検討） ○オリンピック・パラリンピック教育の充実（「オリ・パラスポーツ教室」運動に親しむ態度や目標にむかって努力する生き方を体感させる） ○青梅学の推進（青梅の自然・歴史・地域・文化・施設を学ぶ活動「愛鳥モデル校」の活動。） ○特別支援教育の充実（「ことばときこえの教室」「くわのき」の活用） ○小中一貫教育の推進（震台中との連携）等々
<p>【創立50周年への取組】 ・記念式典、記念誌作成、記念行事等の事業を実施 児童にとってはもちろん、教職員・保護者・地域・卒業生等、河辺小学校に携わる全ての人にとって思い出深い、河辺小を誇りと思える活動となるよう努める。</p>	

新型コロナウイルス感染症対策

基本方針：「3つの健康を守る」

身体の健康：感染予防対策の徹底

（児童・教職員の毎日の健康観察、手洗いの励行、「3密」や「飛沫」を避ける、消毒の実施、「ガイドライン（国・都・市）」に沿った教育活動等々）

心の健康：不安や負担の軽減

（感染症等への児童の不安への心のケア、無理のない教育計画）

社会的な健康：社会的活動の中での成長の機会の確保

（刻々と変化する状況下で、「現時点の最善手は何か」を常に検討し、児童が達成感や所属感等を充足し、成長する機会の確保への努力。差別・偏見・いじめ・うわさ話や病気に関わる冗談、他者を揶揄する表現等への人権感覚づくりと毅然とした指導）

「全校児童を全教職員で育てる」

【保護者の皆様へのお願い】

○「心身ともにベストコンディションで登校を」

学校の教育活動は「午前中」に多くあります。「朝から元気！」が、学習効果の向上にも、精神面や友達関係の安定にも大切です。

特に「十分な睡眠」と「朝ごはん」とらせての登校にご協力ください。

○「困ったこと、疑問に思ったことは、気軽にご相談ください」

お子さんのことで、困ったり悩んだり等何かあった時には、まず担任（または教科担当、養護教諭、コーディネーター、学校スタッフ、管理職等々）にご相談ください。

「チーム河辺小」で、子供の成長のために力を尽くしてまいります！